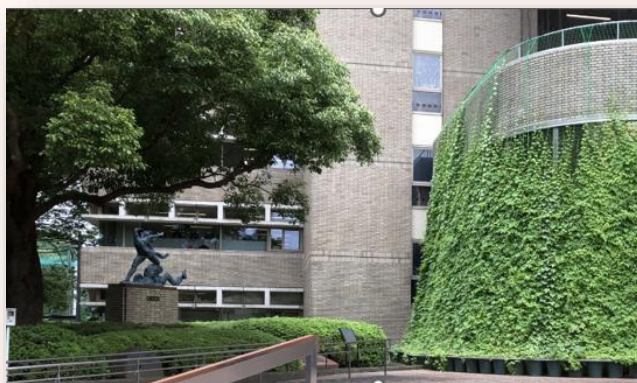


みどり 緑のカーテン

みなさんは「^{みどり}緑のカーテン」
を知っていますか。^{みどり}緑のカー
テンとは、^{しよくぶつ}植物で作られたカー
テンのことです。よく、^{つる}蔓の
^{しよくぶつ}植物が使われます。^{だいひようてき}代表的な
ものは、アサガオやジャスミン



^{まち}町で見つけた^{みどり}ゴーヤの緑のカーテン

などで、キュウリも^{つか}使われたりします。^{みどり}緑のカーテンは夏の強い^{なつ}陽射しを^{つよ}遮^ひさ^{えぎ}えぎ
り、室内の^{しつない}気温を低く保つためのものなので、^きたいてい^{おん}建物の^{ひく}南側や^{たても}西側^{みなみがわ}に^{にしがわ}
^う植えられます。^{いえ}家だけでなく、^{がっこう}学校、^と図書館や^{びょういん}病院などでもよく^み見られます。

4～5月ごろ^{がっ}苗や^{なえ}種を^{たね}植えるとそれが^う育ち、^{そだ}夏の^{なつ}暑い^{あつ}時期に^じカーテンとなっ
て^{ひと}人や^{たても}建物を^{あつ}暑さから^{まも}守ってくれます。ある^{とうけい}統計によると、^{みどり}緑のカーテンが^{まど}窓
にあると^{しつない}室内の^{おん}温度は4～5^ど度^{ひく}低く、^{かべ}壁や^{まえ}バルコニーの^{まへ}前があると^ど10度^{すず}も涼し
いそうです。^{すず}涼しいと^{つか}クーラーを^{ひつよう}使う必要がなくなるので^{さいふ}お財布にも^{かんきよう}環境にも
やさしいのです。また、^{みどり}緑のカーテンは^{しよくぶつ}植物ですので、^{たても}建物を^{すず}涼しくするだけ
でなく、^{さくげん}CO2の^{こうけん}削減にも^{こうけん}貢献しています。



りゅうきゅう 琉球アサガオの緑のカーテン



りゅうきゅう 琉球アサガオの花

みどり 緑のカーテンには、アサガオの花やゴーヤという野菜がよく使われます。アサガオのような花のカーテンはその家の人だけでなく、道行く人の目も楽しませてくれます。野菜のカーテンの実はおいしく料理されて、食卓に並びます。例えばゴーヤ（ウリ）はゴーヤチャンプルーにしたり、サラダやお漬物にしたりしておいしく食べることができます。風船のような実になるフウセンカズラや、小さいスイカのような実になるスズメウリは部屋のデコレーションにすることができます。



↑ ゴーヤ ↓ ゴーヤチャンプルー



←フウセンカズラ

→
スズメウリの
リース



ふつうのカーテンは古^{ふる}くなるとゴミになってしまいますが、緑^{みどり}のカーテンは植物^{しょくぶつ}なので、秋^{あき}に土^{つち}の上に置^おいておけば分解^{ぶんかい}され、他^{ほか}の植物^{しょくぶつ}の肥料^{ひりょう}となります。採^とれた種^{たね}は次^{つぎ}の年^{とし}の緑^{みどり}のカーテンに使^{つか}えますから取^とっておいてください。

このように緑^{みどり}のカーテンは夏^{なつ}を涼^{すず}しく過^すごせるようにしてくれるだけでなく、私^{わたし}たちの目^めも舌^{した}も楽^{たの}しませてくれ、環^{かん}境^{きよう}にもとてもいいものなのです。

いっせき に ちょう いっせきさんちょう
一石二鳥^{いっせき に ちょう} どころか、一石三鳥^{いっせきさんちょう} なのです。

「緑^{みどり}のカーテン」という言葉^{ことば}は20年^{ねん}ぐらい前^{まえ}から一般^{いっぱん}的に知^しられるようになりましたが、実^{じつ}は、日本^{にほん}では江戸時代^{えど じだい}から似^にたような習^{しゅう}慣^{かん}がありました。江戸時代^{えど じだい}の人^{ひと}々は家^{いえ}の軒^{のき}先^{さき}に紐^{ひも}をつるし、その紐^{ひも}にアサガオの蔓^{つる}をはわせ、花^{はな}を楽^{たの}しみながら涼^{すず}んでいたそうです。

みなさんもぜひ、緑^{みどり}のカーテンをやってみてください。

(921字)

(2023.6 Written by Mami TANAKA)



この作品^{さくひん}はクリエイティブ・コモンズ^{ひよう じ} 表示^{ひ せい} - 非営利^{けいしやう} - 継承^{こくさい} 4.0 国際^{もつ} ライセンスの下^{もと}に提^{てい}供^{きやう}されています。この作品^{さくひん}を利用^{りよう}する場^ば合^{あい}は、「たどくのひろば」を出^{しゅ}典^{てん}として示^{しめ}してください。

例^{れい} 出^{しゅ}典^{てん}: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.